

○定期点検の判定について

定期点検の結果は、点検票（様式４）の「判定」欄に以下の５通りのうちから記入することになっています。

A：特に措置を要しない。

B：軽微な対応を要する又は引き続き観察を続ける。

C：精密検査を要する。

D：補修・改善等を要する。

E：現行の法令には不適合だが、法令違反ではないもの。（既存不適格）

点検結果概要書（様式３）では、上記Bをさらに「軽微な対応を要するもの」と「観察を要するもの」に分けて記入します。

これらの判定基準は、概ね下表のとおりとしてください。

（表）判定基準

| |
|---|
| B1．観察を要するもの |
| 劣化はみられるものの、危険ではない状況で、特に対応が必要なく、引き続き観察を続けるべきと思われるもの。 |
| B2．軽微な対応を要するもの |
| 職員による対応（物品の移動等）や、部分的な対応（剥離箇所のみ補修等）により改善できるとと思われるもの。 |
| C．精密調査を要するもの |
| 劣化や安全について危惧や疑問はあるが、本点検では点検が不能又は不十分であり、別途専門的な精密調査が必要と思われるもの。 |
| D．補修・改善等を要するもの |
| 部分的な対応ではなく、全般的な対応（屋上全体の防水改修等）が必要と思われるもの。 |
| E．現行の法令には不適合だが、法令違反ではないもの |
| 建物の建設以降の法令改正により現行法規に合っていないが、増築等をしない限り遡及適応を受けないもの。 |
| 施設による修繕等により、必要な措置が講じられずに法令違反となっているものは、D又はB2の判定とする。 |

具体的な判定例を別紙に示しますが、（B2）判定と（D）判定の判別は程度の問題なので、判定例に固執せず、「部分的な修繕」は（B2）判定、「全体的な改修」は（D）判定としてください。

また、（C）判定について、定期点検では部分的にしか点検できませんが、部分を見て全体を想定できる場合には（C）判定とせずにいずれかの判定を行い、部分から全体が想定し難い場合に（C）判定とするようにしてください。

○既存不適格について

法改正の経緯のいくつかを示しますので、（E）判定の参考にしてください。

| 項目 | 法令 | 改正年月 | 改正内容 |
|--------|---------------------------|---|---|
| 防火区画 | 令112条 (防火区画) | S25.11 施行 S44.5 改正 S49.1 改正 H12.6 改正 | たて穴区画規定新設 たて穴区画に用いる防火戸の構造基準の整備（煙感知器連動防火戸の新設） エレベーター扉の遮煙性能の規定追加 |
| 木造 | 令42条 (土台及び基礎) | S25.11 施行 S46.1 改正 S56.6 改正 | 土台は一体の鉄筋コンクリート又は無筋コンクリート造の布基礎に緊結する旨の規定追加 軟弱地盤区域での土台は一体の鉄筋コンクリート造基礎に緊結する旨の規定追加 |
| 組積造 | 令61条 (組積造のへい) | S25.11 施行 S46.1 改正 S56.6 改正 | 組積造の塀の高さ3m以下から2m以下へ 組積造の塀の高さ1.2m以下へ |
| | 令62条の8 (塀) | S46.1 施行 S56.6 改正 | 補強コンクリートブロック造の塀の高さ3m以下から2.2m以下へ |
| 鉄骨造 | 令64条 (材料) | S25.11 施行 H12.6 改正 | 鉄骨造建築物の構造体力上主要な部分の材料は、鋼材（ステンレス鋼材を含む）又は鋳鉄とする旨の規定追加 |
| | 令66条 (柱の脚部) | S25.11 施行 H12.6 改正 | 大臣が定める基準に従った構造方法による緊結の規定追加 |
| 内装制限 | 法35条の2 (特殊建築物等の内装) | S34.12 施行 S46.1 改正 | 3階以上、無窓居室1,000㎡を超えるもの火気使用室について追加 |
| | 令128条の4 (制限を受ける特殊建築物等) | S34.12 施行 S36.12 改正 S44.5 改正 S46.1 改正 S52.11 改正 | 表（三）耐火建築物、3階以上が1,000㎡以上が追加 表（二）耐火建築物、3階以上の部分300㎡以上が追加 階数が3以上で500㎡以上、階数が2以上で1,000㎡以上、階数が1で3,000㎡以上が追加、火気使用室の内装制限が追加 診療所追加 |
| | 令129条 (特殊建築物等の内装) | S34.12 施行 S44.5 改正 S46.1 改正 | 内装制限が廊下等に対して準不燃以上が追加 居室について難燃以上、廊下通路等は準難燃以上が追加、無窓居室、火気使用室について準不燃以上が追加 |
| | | | |
| 居室の換気 | 法28条 (居室の採光及び換気) | S25.11 施行 S46.1 改正 | 特殊建築物の居室、火を使用する室での換気設備の設置を追加 |
| 階段 | 令25条 (階段およびその踊場の手すり) | S25.11 施行 H12.6 改正 | 手すりの設置の義務づけ |
| 窓・サッシ | S46建告109 | S46.1 施行 | 帳壁として窓にガラス入りのはめごろし戸（網入りのものを除く）を設ける場合には、硬化性のシーリング材を使用してはならない |
| 非常照明 | 令126条の4 (非常用の照明装置の設置) | S46.1 施行 | |
| 給水タンク | S50建告1597 | S50.12 施行 | 給水タンク等は外部から6面点検が容易かつ安全に行えるように設置する 給水タンク等の天井、底、周壁は建築物の他の部分と兼用できない |
| 排煙設備 | 令126条の2、3 | S46.1 施行 | |
| エレベーター | 令129条の10第3項第1号、第2号 | H21.9 改正 | 戸開走行保護装置の設置義務付け 地震時管制運転装置の設置義務付け |

| 点検項目 | 状態 | 判定 |
|----------------------|-------------------------------------|----|
| 1-1-1 地盤 | 一部に沈下箇所が見られるが、生活に支障を与えるほどではない。 | B1 |
| | ますの鉄蓋が破損している。 | B2 |
| | 建物周囲に沈下が見られ、常時、雨水等が滞留している。原因調査が必要。 | C |
| | 水の使用量が急激に増加している。漏水の調査が必要。 | C |
| | ますの鉄蓋が破損している。 | D |
| | 建物の近傍に大規模な陥没が生じている。 | D |
| 1-1-2 敷地 | 排水管が詰まっている。清掃を行う。 | B2 |
| 1-2-1 空地・通路等 | 路面に車輛通行に支障となる土砂等が堆積している。 | B2 |
| | 道路横断側溝の蓋が破損しており、消防車等の重量車両の通行が不能である。 | B2 |
| | 路肩の一部に消防車等の通行に支障の恐れのある崩壊箇所が見られる。 | C |
| 1-2-2 避難通路 | 避難通路が駐車スペースとして利用され、必要な幅員が不足している。 | B2 |
| | 避難通路が塀（または工作物）により遮断されている。 | D |
| 1-2-3 舗装等 | 舗装面に部分的なくぼみやひび割れが見られるが、通行等に支障はない。 | B1 |
| | 舗装面の沈下が著しく、路盤や路床まで破損している恐れがある。 | C |
| | 舗装面全体にひび割れ、陥没等の箇所が見られ、通行等に支障がある。 | D |
| 1-3-1 ブロック塀・コンクリート塀等 | コンクリート塀に小規模なひび割れが発生している。 | B1 |
| | ブロック塀に若干のぐらつきと傾斜等が見られる。 | C |
| | 塀側に雨水が流れている。排水溝を設置し、雨水等进行处理する。 | D |
| | 倒れかかっていたり、傾きや一部の崩落が生じている。 | D |
| | 基礎部分が洗堀により露出しており、根入れ深さが不足している。 | D |
| | 控壁間隔が不適切であるなど、必要な控壁が設けられていない。 | D |
| | ブロック塀の高さが2.2mを超えている。 | D |
| 1-3-2 擁壁・がけ等 | 法面の変状（クラック）が見られるが、急速な進行の恐れがない。 | B1 |
| | 法面の変状（クラック・はらみ・浸食）が著しく、急速な進行の恐れがある。 | C |
| | 基礎部分が露出している。 | D |
| | 擁壁に亀裂が発生し、一部にゆるみが見られる。 | D |
| 1-3-3 植栽 | 枝が電力線に接触しそうである。枝をはらう。 | B2 |
| | 樹木が通行の支障となっている。 | D |

B1：引き続き観察を続ける
 B2：軽微な対応を要する
 C：精密調査を要する
 D：補修・改善等を要する
 E：現行の法令には不適合だが、法令違反ではないもの（既存不適格）

| 点検項目 | 状態 | 判定 |
|---------------------|---|----|
| 2-1-1 外壁の防火対策 | 窓下に取り付けられている可燃性の看板は、防火上危険なので除去する必要がある。 | D |
| | 外壁の一部が改修しており、可燃性のある材料が用いられているため、防火性能が損なわれている可能性がある。 | C |
| | 外壁面に設けている換気孔は、延焼防止上支障があるので、防火覆いを付けるか位置を変える必要がある。 | D |
| | 竣工後新たに設けられた開口部や、取り替えたガラスが網入りガラスになっていない。 | D |
| 2-2-1 土台・基礎 | 土台木部に黒い染みが見られる。 | B1 |
| | 基礎コンクリート換気孔周囲にひび割れが見られる。モルタル補修が必要。 | B2 |
| | 基礎又は土台に腐朽があり、必要な安全性が損なわれている疑いがある。 | C |
| | 不同沈下によると考えられるひび割れがみられる。専門家による原因調査が必要。 | C |
| | 各スパンに幅1mm以上のひび割れが多く発生している。 | D |
| 2-2-2 建物躯体 | 亜鉛メッキ面に白錆層が認められる。 | B1 |
| | 木部表面に繊維に沿った黒い染みが見られる。 | B1 |
| | 木部に腐朽菌の繁殖と思われる白い綿状のものがみられる。 | C |
| | 錆、腐食、摩損等が生じ、耐久性が損なわれてきている。 | D |
| | (木造) 柱下部に黒い染みが見られる。 | B1 |
| | 複数の腐朽等が構造上主要な部分に生じている。 | D |
| | (組積造) 石材目地にエフロレッセンスが発生している。薬品等で洗浄を行う。 | B2 |
| | れんが積の目地部より錆汁が流出している。専門家による調査が必要。 | C |
| | れんが積開口部にズレが発生している。 | D |
| | れんが積のはね出し窓の補強鉄骨が著しく腐食しており、危険な状態である。 | D |
| | (補強コンクリート・ブロック造) ブロックコーナー部に小規模な欠けが見られる。 | B1 |
| | ブロック面に漏水跡が見られる。防水剤等の塗布を実施する。 | B2 |
| | ブロック目地部より錆汁が流出している。専門家による調査が必要。 | C |
| | ブロック面にひび割れが発生している。 | D |
| | 目地モルタルが著しく欠落し、ブロック積に変位が見られる。 | D |
| | (鉄骨造) 鉄骨面の塗膜に小規模な剥がれが見られる。 | B2 |
| | 鋼材に赤錆がかなり発生している。専門家による調査が必要。 | C |
| | 鉄骨階段の踏場の鋼板全面に錆が発生している。 | D |
| | 基礎アンカーボルト固定部の腐食が著しく危険な状態である。 | D |
| | 柱脚アンカーが折れている。 | D |
| | (鉄筋コンクリート造) (鉄筋コンクリート建築物点検票による) | - |
| 2-3-1 タイル・モルタル・石貼り等 | 外装面にエフロレッセンス（白華）が見られる。雨水が入っていると思われるので、精密診断が必要。 | C |

B1：引き続き観察を続ける

B2：軽微な対応を要する

C：精密検査を要する

D：補修・改善等を要する

E：現行の法令には不適合だが、法令違反ではないもの（既存不適格）

| 点検項目 | 状態 | 判定 |
|--------------------|---|----|
| | 外壁タイルに浮きがある。 | D |
| | 外壁タイルが剥落している。 | D |
| 2-3- 2 パネル面 | アルミ製パネル表面に点食が出始めている。 | B1 |
| | ALCパネルのビス止め部に割れが見られる。 | B2 |
| | 塗装がチョーキング現象を起こしており、部分的に塗膜の剥がれが見られる。 | B2 |
| | パネル表面に点錆が見られる。補修要否のための診断が必要。 | C |
| 2-3- 3 シーリング材等 | ドアまわり、外壁打継ぎの目地シーリング部破断している。 | B2 |
| | シーリング材表面にしわ、ひび割れ等が見られる。専門家による調査が必要。 | C |
| 2-4- 1 サッシ等 | ドアチェックのアームが外れている。 | B2 |
| | 外部扉の一部がグラついて危険な状態にある。 | B2 |
| | 鋼製建具の開閉が重く、調子が悪い。専門業者の調査が必要。 | C |
| 2-4- 2 サッシ等 | アルミ表面に部分的な点食が見られる。 | B1 |
| | 部材が錆により深く穴が開いている。 | D |
| 2-4- 3 ガラスの固定状況 | 網入りガラスにひび割れが見られる。 | B2 |
| | はめ殺し窓に網入りガラスではないガラスが硬化性のシーリング材によって固定されており、特段の安全対策（飛散防止フィルムの貼付など）がとられていない。 | E |
| 2-5 看板・室外機等 | 支持アンカー部周囲のモルタルにひび割れが見られる。 | B1 |
| | 看板がフラついている。 | B2 |
| | 支持部に錆汁の跡が見られる。原因確認のための調査が必要。 | C |

B1：引き続き観察を続ける
 B2：軽微な対応を要する
 C：精密検査を要する
 D：補修・改善等を要する
 E：現行の法令には不適合だが、法令違反ではないもの（既存不適格）

| 点検項目 | 状態 | 判定 |
|-----------------------|------------------------------------|----|
| 3-1- 1 防水保護層 | 断熱ブロックが割れているので養生する。 | B2 |
| | 著しく雨漏りがしている。 | D |
| 3-1- 2 露出防水層 | 防水層の一部に微少なふくれ箇所がある。 | B2 |
| | 防水層にふくれ、ひび割れが見られる。 | D |
| | 防水層に破断箇所が見られる。 | D |
| | 防水層端部の押さえ金具が外れている。 | D |
| 3-2- 1 パラペット等 | 立上りモルタルに若干ひび割れが発生している。 | B2 |
| | 立ち上がり部に白華が見られる。漏水等を含めて精密調査が必要。 | C |
| | 笠木金物にガタツキが見られる。精密調査が必要。 | C |
| | パラペット部のモルタルに欠損箇所が見られる。 | D |
| | パラペットのアルミ笠木同士がずれて離れている。 | D |
| 3-2- 2 排水状況 | ルーフトレンにゴミ、泥が付着している。清掃する。 | B2 |
| | ドレーン用目皿が紛失している。 | B2 |
| | 軒樋と縦樋のドレーン部分がはずれている。 | D |
| 3-2- 3 屋根ふき材等 | 金属屋根に小さな錆が発生している。 | B1 |
| | 折板屋根の塗装が部分的に剥がれている。 | B1 |
| | 雪止め金物に錆が発生している。 | B1 |
| | 金属屋根がかなり腐食し、穴が開いている。 | D |
| | スレートがひび割れにより落下する恐れがある。 | D |
| | 金物の腐食等により部材等が落下する恐れがある。 | D |
| | 一部の部材が落下しており、引き続き落下の恐れがある。 | D |
| 3-2- 4 屋根ふき材等の防火性能 | 屋根のガラスブロックにひびが入っている。 | B2 |
| | 増築部分の屋根が塩化ビニールで葺かれている。 | D |
| 3-2- 5 屋上出入口 | 開放されている屋上で、手すりが容易に乗り越えられる状態になっている。 | D |
| | 部外者が自由に屋上に入出入りできるようになっている。 | D |
| 3-3 機器・工作物 | 手すり金物の塗装が剥がれている。 | B2 |
| | 広告塔の支持脚部が変形している。 | D |
| 3-4 煙突 | ハシゴに錆が発生している。 | B2 |
| | 緊結金物がはずれている。 | B2 |
| | ひび割れ部から錆汁が流出している。 | D |

B1：引き続き観察を続ける

B2：軽微な対応を要する

C：精密検査を要する

D：補修・改善等を要する

E：現行の法令には不適合だが、法令違反ではないもの（既存不適格）

| 点検項目 | 状態 | 判定 |
|------------------------|--|----|
| 4-1-1 防火区画を構成する床・壁・柱・梁 | 最近改修された防火区画壁があるが、その防火性能が図面では確認できない。 | C |
| | 建物の用途が変更され、防火区画の必要な建物となっているが、防火区画が構成されていない。 | D |
| 4-1-2 たて穴区画 | たて穴区画が構成されていない。(S44以前の建物) | E |
| | エレベーター昇降路の区画が従来のままになっており、たて穴区画を構成していない。(H12以前の建物) | E |
| 4-1-3 面積区画・異種用途区画 | 面積区画が構成されていない。 | D |
| | 面積区画の壁が撤去されている。 | D |
| 4-1-4 防火区画の外周部 | 水平区画の網入りガラスにひびが入っているので、交換する必要がある。 | B2 |
| | スパンドレルの耐火パネルが必要な建物の金属カーテンウォールにおいて、耐火パネルが確認できない。内部の調査が必要。 | C |
| 4-1-5 界壁等 | 新しく設けられた界壁があるが、その上部が天井で隠れているため確認できない。 | C |
| | 防火上主要な間仕切壁の上部が上階のスラブに達していない。 | D |
| 4-2-1 防火区画貫通部 | 金属管貫通部の一部に埋め戻しの不良な部分が見られる。隙間の充填が必要。 | B2 |
| | 防火ダンパーが撤去されている。 | D |
| | ダクト貫通部の周囲が埋め戻しされていない。 | D |
| 4-3-1 内装材 | 天井断熱材（ポリエチレンシート）が部分的に剥離している。 | B2 |
| | 間仕切壁の一部に経年劣化によるクラックがあり、下地が見えている。不燃性が確保されていない恐れがあり、壁全体の調査が必要。 | C |
| | 内装の改修により、不燃であるべき部分に可燃性の壁紙を張っている。 | D |
| | 建物の用途が変更され、内装制限のかかる建物となっているが、内装材が不燃化されていない。 | D |
| 4-3-2 家具・機器類 | 防火シャッターの手動閉鎖装置の前に展示ケースが置かれており、手が届かない。 | B2 |
| | 天井近くまである大型固定書架が設置されており、スプリンクラーの散水障害になっている。 | D |
| | 自然排煙口が固定式の家具で塞がれている。 | D |
| 4-4-1 建物躯体 | (2-2-2 建物躯体を参照) | - |
| 4-4-2 耐火被覆 | 天井がひる石吹付で、アスベスト含有の可能性がある。 | C |
| | 設備配管の改修工事によって耐火被覆が削られ、鉄骨が露出している。 | D |
| 4-5-1 採光 | 家具によって窓が塞がれており、十分な採光が確保されていない。 | B2 |
| | 模様替えによって有効な採光が得られなくなっている。 | D |
| 4-6-1 雨漏り | 外壁にヘアークラックが見られる。 | B1 |
| | 室内に漏水した形跡が見られる。雨水進入箇所の調査が必要。 | C |
| | 漏水を伴う貫通ひび割れが見られる。 | D |
| 4-6-2 地下室の漏水 | コンクリート壁に水滴が付着している。 | B1 |
| | 室内に漏水した形跡が見られる。雨水進入箇所の調査が必要。 | C |
| | 貫通配管周囲より漏水している。 | D |

B1：引き続き観察を続ける

B2：軽微な対応を要する

C：精密検査を要する

D：補修・改善等を要する

E：現行の法令には不適合だが、法令違反ではないもの（既存不適格）

| 点検項目 | 状態 | 判定 |
|-----------------|---|----|
| 5-1-1 避難出口・通路 | 家具のために出口扉が十分に開かない状態になっている。 | B2 |
| | 不特定多数が集会できる居室の出口扉が内開きとなっている。利用形態を確認・徹底するか、避難方向に開放できるように改修する必要がある。 | B2 |
| | 避難通路に自動販売機が固定され、幅員が不足している。 | B2 |
| | 事務室だった部分が会議室に変更されているが、収容人数に対して出口が一つしかなく、避難に支障が出る。 | B2 |
| | 屋外階段の最下部が鎖で施錠されており、上階からの避難ができなくなっている。 | D |
| 5-1-2 2方向避難の確保 | 2階段が必要な用途・規模であるにもかかわらず、1階段しかない。 | D |
| 5-1-3 避難バルコニー | 避難バルコニーに鉄製の物置が置かれており、隣戸との間の通行ができなくなっている。 | D |
| | 避難バルコニーの避難ハッチの上に物置が置かれている。 | D |
| | 避難バルコニーのタラップが破損している。 | D |
| 5-2-1 階段（共通） | ノンスリップの取付がゆるんでいる。 | B2 |
| | 手すりが設けられていない。（H12以前の建物） | E |
| 5-2-2 屋外階段 | 鉄骨にわずかな錆が見られるが、ごく一部なので様子を見る。 | B1 |
| | 屋外階段の踊場に空調室外機が設置されており、通行の支障となっている。 | B2 |
| | 全体に錆の発生が激しいので、塗装の必要がある。 | D |
| 5-3-1 防煙区画・排煙設備 | 排煙窓が開かない。 | B2 |
| | 排煙窓が塞がれている。 | B2 |
| | 防煙垂れ壁の材料が可燃性のおそれがある。 | C |
| | 自然排煙口の面積が防煙区画面積の1/50未満のおそれがある。 | C |
| | 防煙垂れ壁が所定の高さに達していない。 | D |
| 5-4-1 非常用進入口等 | 進入口の内側に家具が置かれており、進入の障害になるおそれがある。 | B2 |
| | 進入口となる窓がシール付のものに改修されており、破壊するのに時間がかかるおそれがある。 | D |
| | 進入口の表示が剥がされている。 | D |

B1：引き続き観察を続ける

B2：軽微な対応を要する

C：精密検査を要する

D：補修・改善等を要する

E：現行の法令には不適合だが、法令違反ではないもの（既存不適格）

| 点検項目 | 状態 | 判定 |
|-------------------|--|----|
| 6-1-1 防災設備（電気） | 家具により非常照明の所要の照度が確保できない箇所がある。 | B2 |
| | 非常照明が点灯しない。点灯するが暗い。 | D |
| | 建物の用途が変更され、非常照明の必要な建物となっているが、設置されていない。 | D |
| | 非常照明が設置されていない。（S45以前の建物） | E |
| | 煙感知器連動防火扉の専門業者による点検がなされていない。専門業者による点検が必要。 | B2 |
| 6-1-2 その他の電気設備 | 屋外用ブラケット照明器具のブラケットが破損している。 | B2 |
| | 外灯の根本が錆びて倒壊の恐れがある。 | D |
| | 屋外分電盤の錆が激しく、雨水の浸入により漏電のおそれがある。 | D |
| | キュービクル本体の錆、腐食が目立つ。 | D |
| | 気中開閉器の経年劣化により、絶縁不良の恐れがある。 | D |
| | 電気主任技術者による点検指摘事項への対処がなされていない。 | D |
| | バッテリー交換時期がメーカー推奨時期を超過している。 | C |
| 6-2-1 防災設備（給排水） | 消火栓の専門業者による点検が行われていない。専門業者による点検が必要。 | B2 |
| | 天井近くまである大型固定書架が設置されており、スプリンクラーの散水障害になっている。 | D |
| 6-2-2 その他の給排水衛生設備 | 通気管、オーバーフロー管に防虫網がない。 | B2 |
| | コンクリート躯体を利用した水槽となっている。（S50以前の建物） | E |
| | 赤水が出ており、原因箇所の調査が必要。 | C |
| | 配管から水漏れがある。 | D |
| | 屋外機器の基礎に多数のヒビ割れがある。 | B2 |
| | アンカーボルトのない箇所がある。 | B2 |
| 6-3-2 空調設備 | 屋外油タンクが固定されておらず、転倒のおそれがある。 | B2 |
| | 地下油タンク上部に可燃物がある。 | B2 |
| | 屋外油タンクに防油堤がない。 | D |
| | 冷却塔のアンカーボルトの腐食が激しい。 | D |
| 6-3-3 換気設備 | 火気使用室（湯沸室）に改修された部屋に換気設備がない。 | D |
| | 火気使用室の換気扇に対する給気がとれていない。 | D |
| | 防火ダンパーの位置に天井点検口がない。 | D |
| | 防火ダンパーが取り外されている。 | D |

B1：引き続き観察を続ける

B2：軽微な対応を要する

C：精密検査を要する

D：補修・改善等を要する

E：現行の法令には不適合だが、法令違反ではないもの（既存不適格）

| 点検項目 | 状態 | 判定 |
|---------------|--|----|
| 7-1-1 防火扉等 | 常時閉鎖型の防火扉が、開放のまま使用されている。 | B2 |
| | 防火扉に鍵がかかっている。 | B2 |
| | 防火扉の閉鎖軌跡内に物が置いてある。 | B2 |
| | 煙感知器連動防火扉の専門業者による点検がなされていない。 | C |
| | 防火扉が取り外されている。 | D |
| | ドアクローザーの調整が狂っており、扉が閉まりきらない。 | D |
| | 扉と枠の間に大きな隙間が生じている。 | D |
| | 両開き防火扉に順位調整器が設置されていない。 | D |
| | たて穴区画の防火扉の閉鎖機構が煙感知器連動ではなく、温度ヒューズ式になっている。(S48以前の建物) | E |
| 7-2-1 防火シャッター | 防火シャッターの下降面内に物が置いてある。 | B2 |
| | たて穴区画の防火シャッターの閉鎖機構が煙感知器連動ではなく、温度ヒューズ式になっている。(S48以前の建物) | E |
| | たて穴区画の防火シャッターに遮煙性能のないものが使われている。(S48以前の建物) | E |

- B1 : 引き続き観察を続ける
 B2 : 軽微な対応を要する
 C : 精密検査を要する
 D : 補修・改善等を要する
 E : 現行の法令には不適合だが、法令違反ではないもの(既存不適格)